



山本俊一郎 議員
SHUNICHIRO YAMAMOTO

な限り市内産を使用しており、有機栽培による野菜も取り入れている。食物アレルギーのある児童生徒については代替食などで対応している。

中央・北学校給食センターに様々な調理機器などを導入し、おいしい給食を温かいまま配食している。

問 中学校体育館に空調設備を整備し、避難所としての環境改善と熱中症対策等をするという事ですが、使用開始出来るのはいつ頃の予定か。

答 来年の2月頃を予定している。

問 JR姫新線本竜野駅周辺の中心市街地複合施設基本構想策定事業について、現時点での市の具体的な構想を伺います。

答 老朽化が進んでいる小宅公民館の建替えを計画するに当たり、公民館機能はもとより、本竜野駅周辺のまちづくりに合わせて、地域活性化と賑わいを創設する複合施設としての建設に向けて、基本構想を策定する。

その他の質問事項

- 御津地域の人工芝多目的グラウンド整備事業について
- 都市公園のインクルーシブ化
- 龍野公園・片山公園・中川原公園グラウンドの整備について

Q&A

令和7年度 施政方針より

問 小中学校給食費の完全無償化については、人口5万人以上の都市で、兵庫県内でもたつの市だけと「子育てするならたつの市」を大きくアピール出来る施策だと感じます。コロナ禍などの社会情勢や、多額の予算がかかるという事で実現には困難が多かったと推察しますが、今回実現に至った要因をお伺いします。

答 不断の行財政改革に取り組んできた成果として、一定の恒久的財源を確保出来た事で実現が可能となった。

問 現在の給食に関しては、小宅小学校・龍野東中学校の生徒や保護者からも「温かい状態で届くのでとてもおいしい」とたくさんのお声を直接聞いております。無償化した後も、どのような方法で本市の学校給食の魅力を高めていけるのか方針を伺います。

答 地元生産者の協力を得て、主食である米は100%、野菜も可能な限り市内産を使用しており、有機栽培による野菜も取り入れている。食物アレルギーのある児童生徒については代替食などで対応している。

Q&A

2025年度 施政方針



名村 嘉洋 議員
YOSHIHIRO NAMURA

2025年度 施政方針

問 JR竜野駅周辺の利便性を向上させる施策について

答 駅前南線については4月1日に全線共用開始を予定している。また、地域交流施設、トイレ、エレベーター、駅南広場、駅南ロータリーにつきましましては、令和7年度の完成を目指し整備している。

問 小学生1年生から中学3年生まで全ての児童生徒の学校給食を完全無償化。高校生等の医療費については、所得制限を撤廃し、18歳以下の医療費を完全無料化する。また、妊娠前から子育て期までの切れ目のない相談、支援に努めるとあるが

子育て世帯の経済的負担の軽減はどれくらいになるのか伺う。

答 子育て世帯への軽減額の平均を令和7年度の予算額から算定すると年間約53万3千円、18年間で約959万4千円である。

今後においても、少子化やライフスタイルの多様化に伴い、生活環境が大きく変化している中、安心して子どもを産み育てられるよう強化を図る。

問 中学校部活動の地域クラブ活動移行への計画について

答 令和7年度の計画は、市内5校の学校部活動16種目に部活動指導員を配置し、地域連携を進める。また、中学生を受け入れる地域クラブの開拓を進め、地域展開の種目を増やしていく。



問 有害鳥獣対策の自治会支援について

答 野生動物侵入防止柵の設置の際に、新たな金網柵、ワイヤーメッシュ柵及び電気柵の設置に対し、業者施工の場合は、事業費の85%を、直接設置の場合は、100%の補助金を交付している。

その他の質問事項

- 今後の地域包括ケアシステムの方向性を問う
- 市民の交通手段を維持するための取組みについて伺う